

第4回酵素応用シンポジウム

平成15年6月6日(金) 名鉄ニューグランドホテル

演題1：立体構造に基づいたキノプロテイン・アルコール脱水素酵素の機能改変
外山 博英(山口大学 農学部生物機能科学科)

演題2：微生物におけるアルドキシム代謝経路の解明と有機合成への応用
加藤 康夫(富山県立大学 工学部生物工学研究センター)

演題3：微生物 glycerophosphodiester phosphodiesterase を応用したゲノム創薬
矢中 規之(広島大学大学院 生物圏科学研究科)

演題1～3 座長/魚住 武司(明治大学 農学部生命科学科 教授)

演題4：抗腫瘍性酵素L-メチオニン S-リアーゼの構造機能解析と癌治療への応用
稲垣 賢二(岡山大学 農学部微生物遺伝子化学研究室)

演題5：皮膚表皮のトランスグルタミナーゼ(タンパク質架橋酵素)の活性制御機構とその応用
人見 清隆(名古屋大学大学院 生命農学研究科)

演題6：医薬中間体製造における微生物酵素の利用と展開
広瀬 芳彦(天野エンザイム メディカル事業部)

演題4～6 座長/足立 収生(山口大学 農学部生物資源科学科 教授)

演題7：〔特別講演〕微生物酵素から機能タンパク質へ
熊谷 英彦(京都大学大学院 生命科学研究科 教授)

演題7 座長/清水 昌(京都大学大学院 農学研究科 教授)